

# 議会フォーラム実施報告書

～市民と振り返る議会評価～



令和5年6月21日  
滝沢市議会

# 目 次

- 実施概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3～4
- 議会フォーラムの振り返り・・・・・・・・ 5～6
- 市民と議員の意見交換（ワールドカフェ）のまとめ・・・ 7～9
  - ・参加者評価シートのまとめ・・・・・・・・ 10～12
- 参加者アンケートのまとめ・・・・・・・・ 13～14

## 議会フォーラム実施概要

### 1 日時

令和5年5月28日（日） 13時～16時18分

### 2 場所

滝沢ふるさと交流館

### 3 実施内容

#### (1) 議会報告

報告者 滝沢市議会 副議長 藤原 治  
「4年間の取り組み報告」

講師 議会アドバイザー 太田 晴輝 氏  
「滝沢市議会の現状について」



#### (2) 基調講演

講師 大正大学社会共生学部教授 江藤 俊昭 氏  
演題 「住民自治の根幹としての議会のもう一步：議会評価の意味」



#### (3) ワールドカフェ

進行 青森大学教授 佐藤 淳 氏  
テーマ 「滝沢市議会の今後の方向性」



### 4 参加者

86名（市民67名、議員19名）

※傍聴者10名

5 年代別参加者とその割合（参加者のみ）

10代	9名（13.4%）
20代	19名（28.3%）
30代	2名（3.0%）
40代	10名（14.9%）
50代	6名（9.0%）
60代	5名（7.6%）
70代	13名（19.4%）
80代	3名（4.4%）

6 所属別参加者とその割合（参加者のみ）

自治会	19名（28.3%）
大学生	16名（23.9%）
高校生	9名（13.4%）
小中学校PTA	7名（10.4%）
商工会	4名（6.0%）
保育関係	5名（7.6%）
一般	7名（10.4%）

7 ワールドカフェまとめシート回収枚数（A3版）

67枚（67／67、回収率100%）

8 アンケート回収枚数（フォーラム全体に対するアンケート）

62枚（62／67、回収率92.5%）

## 議会フォーラムの振り返り

### ～「市民と振り返る議会評価」～

今回の滝沢市議会フォーラムは、滝沢市議会基本条例の制定後初めての市民の評価を得る取り組みでした。高校生から一般の方々まで幅広い年代に参加いただき、3時間ほどの長時間にわたって滝沢市議会の評価に取り組んでいただきました。滝沢市議会の評価を市民と行うために参加者が十分な評価ができるように、議会の仕組みや取り組み状況を具体的にお伝えすることを重視してプログラムを構成しました。

そのことにより、参加者は改めて議会の仕組みや活動内容に触れ、深い関心を示してくれました。また、参加者の意見から議会と市民とのコミュニケーションや議会活動の情報発信の不十分さが浮き彫りとなりました。

議員の評価は、市民の評価と同様の内容が多く、市民の意見を聞くための仕組みの必要性や議員間討議の充実等の課題を挙げたほか、市民との関わり方の不十分な点にも気づき、今後、積極的に話し合いの場を設けるべきであるとしています。

4年間の議会の取り組みは、新型コロナウイルス感染症による影響が大きく市民とのコミュニケーションをとることが難しい中、趣向を凝らして取り組んだ経緯があります。しかしながら、参加者からの厳しい意見に注視すると、このような時こそ、市民とのかかわりや情報発信がもっと必要だったと捉えられます。

市民から議会の評価を求めることに対しては、進め方の難しさ等があることから今まで躊躇していましたが、今回のように話しやすい環境を設定すること

でたくさんの意見をいただけたことは、議会評価の大きな成果となりました。

また、議会フォーラムは、議員任期最終年度の節目として5月に開催しましたが、開催後の振り返り等が十分に出来ないことから、議会フォーラムの計画の際にはまとめまでを含めたスケジュールを決めておくことが必要でした。

今後の開催にあたっては、議会全体の4年間の事業計画の中に位置付け、市民の意見を議会に反映できるように、協議が十分出来る体制をとっていくことが重要と捉えます。

## 市民と議員の意見交換（ワールドカフェ）のまとめ

ワールドカフェにおいて、参加者同士が考えを共有しながら議会の活動に対して点数をつけて「その心は？」という具体的な評価をひとり一人が記入する作業をしました。結果は零点から10点までと幅広い点数評価でしたが参加者の平均点を見ると6.8点(10点満点中)でした。議員の評価は6.1点で参加者との大きな差はありませんでした。

また、点数を付けた際の「その心は」の内容を、議会基本条例の理念である「開かれた議会」「市民とともに歩む議会」「行動する議会」の3つの理念に沿ってまとめてみると以下の通りになります。

### ○開かれた議会について

参加者の評価は「公開度は十分。市民へのPRはかなり良い」という意見は少数で「いろいろと改革が進んでいると思いますが市民にはあまり見えてきません」「具体的成果、結果が解りにくい」「議会で何が行われているのか市民が把握していないため、もっとオープンにした方が良い」「実行して良くても悪くてもしっかりと結果に出してほしい。市民の皆さんにも提示してほしい」

「市民のことをたくさん考えて政策を練っているけれどそれがうまく伝えられていないかも」「議会でやった事、成果がよく見えない。市民に伝わらなければ意味がない」という内容が多く議会情報の発信の仕方や内容は十分では無いことが分かりました。

今後は、「どうすればうまく伝わるのか」という視点で市民の意見を具体的に探り改善に向けていくことが必要です。

### ○市民とともに歩む議会について

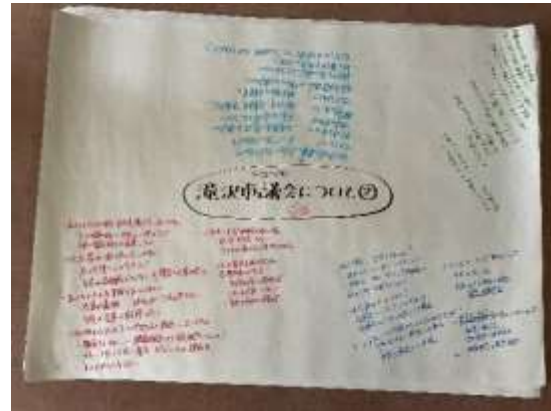
参加者の評価は「市民ともっと近い状態をつくること」「つながり、つながる滝沢市を目指してほしい」「このような機会は貴重。しかし、意見が反映されていない点も多い」「まだまだ、市民の声をすい上げる方法があると思う」「話し合いの中で議会に不信感を抱くような方がいたので、このような方が納得できるような説明が必要」「市民の声を聴く場がある」という内容でした。議会では、議会報告会や市民懇談会、市民議会などで市民の意見を聴取して、その意見を政策に反映するために、予算や決算の審議等で取り上げ、政策サイクルを意識した取組をしていますが、市民の意見を聞く場はあるけれど、意見が十分に反映されていない点については厳しい評価を頂いたと捉えられます。

### ○行動する議会について

参加者の評価は「少子化対策、若者定住についてより具体的な政策を期待」「先駆けて様々なことをしているので行動力は評価するが、議会で要望が多く提言になっていないところはマイナス」「先駆けている意味がない」「先進的に取り組んでいるところを評価」「議会改革に取り組んでほしい。第三者による議会評価を行い市民と共有する」「若い世代の意見を反映すべく動き始めている」「設立して間もないから柔軟な取り組みが出来ている感覚が否めない」「第三者の評価、SOUNDカードを通して滝沢市の現状が可視化できた」としており、滝沢市議会は行動力があると評価しつつ、第三者による議会評価や柔軟な取り組みを期待する意見もあることから、これまでの活動を活かし、今後の積極的な取り組みを期待していると捉えられます。



【各グループでの記録】（一部抜粋）



【評価結果】（「滝沢市議会を10点満点で評価すると何点？」）

評価者	対象人数	合計	平均
市民評価	67名	458.0点	6.835点
議員評価	19名	117.5点	6.184点
合計	86名	575.5点	6.691点



(岩手山・チャグチャグ馬コの里・滝の沢)

